

イルカ なぜしゃべれる？ 脳の大きさ人間並み 物・文字・音を関連づけ

なるほど!



なるほど! イルカが、物の呼び方を覚えて、しゃべれるようになったんだってね。

記者 鴨川シーワールド(千葉

県鴨川市)にいるシロイルカ「ナック」のことですね。ナックに足

ひれ(フィン)を表す呼び方(音声)や記号(文字)を教えると、その音声を聞けばフィンを選んだり、フィンを見たらその声で鳴いたりできました。さらに、教えなくても、記号を見せればフィンの呼び方で鳴くことや、その逆のことができるようになりました。全部で四つの名詞を覚えたそうです。ナックを長く研究してきた村山司・東海大教授は「言語能力は人間並み」と話します。

Q なぜ「人間並み」と言えるの？

A ナックは目で見た物と、音声や文字を関連つけて考える能力があると確認されました。人間がリンゴを見て「リンゴ」と声に出



人間並みの言語能力を持つシロイルカの「ナック」(千葉県鴨川市の鴨川シーワールドで、村山司・東海大教授提供)

したり「リンゴ」という字を覚えていくのと同じです。イルカの脳は人間の大人と同じくらいの重さで、記憶に關係する「海馬」と呼ばれる部分は人間よりも大きいそうです。数を区別したり順序を理解したりできるほか、鏡に映った像を自分と認識できるなど、霊長類並みの能力が確認されています。

Q イルカって、頭がいいんだね。
A ナックのような言語能力はオウムやチンパンジーも持っていません。ただし、イルカはチンパンジーのように絵を描いたり、じゃんけんしたりすることはできませんから、動物によって得意な分野は違ふようです。

Q ナックと会話できるようになるかな。
A 村山さんたちは動詞を教えるようとしています。「えさ食べる」と、ほぼ文章になるからです。村山さんは人間の言葉を理解するイルカが登場する映画を見て、「イルカとしゃべりたい」と研究者になりました。夢に一歩ずつ近づいているようです。回答・永山悦子(オピニオングループ)

掲載テーマを募集しています
〒100-8005 毎日新聞「なるほど」係
なるほど
2017.9.6